



令和6年度 施設の自己評価

【記入方法】各項目の総合評価(A、B、C、D)の欄に○をつけてください。
 A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

【認定こども園用】

園名： たかさごSCHOOL取手

評価日：令和7年3月31日

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
園の基本姿勢	全体的な計画は園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて教育、保育のねらい、内容が総合的に展開されるよう編成されている	○				リーダー会議・ブロック会議・職員会議・HIROKOメソッド・全体の計画・年間指導計画や指導案についての作成・話し合いを行っている。
	全体的な計画をより適切なものに改めていくという姿勢を全保育者等が持っている	○				
	指導計画を作成するにあたり、一人ひとりの子どもの発達過程や状況、クラスの実態について職員の共通認識のもとに作成している	○				
	子どもの発達状況、月や期の目標、教育、保育の実態について職員間で話し合う機会を設けている	○				
	就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を確実に送付し、情報共有を図っている	○				
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している	○				全国保育士協会編訳「児童憲章」・個人情報保護マニュアル(プライバシーポリシー・情報管理マニュアル・鍵管理)・NG用語虐待マニュアルとそれに基づいた園内研修・障害児童個人計画と記録等に取り組んでいる。毎日の昼礼や毎月の職員会議ではクラス全体や気になるお子さんについて等話し合い共通理解をしよう努めている。昨年度に比べ満足度は上がっているが、幼児クラスにおいてお子さんへの配慮不足と感じられるご意見があり丁寧な言動や対応を徹底していく。
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない		○			
	長期欠席の子どもの状況把握をしている	○				
	子どもの様子で気になることは関係機関に報告している	○				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している	○				
教育・保育施設ならびに保育者の質の向上	園長は、地域の状況を把握し、目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている	○				保育所保育指針・全体的な計画・経営理念・経営ビジョン・保育目標・保育方針・各種行事アンケート・保護者面談・食育・保健計画等に取り組んでいる・行事後のアンケートや年度末に実施するアンケートでは感想やご意見、要望に対して真摯に受け止めより良いものになるよう改善していく努力をしている。
	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を十分に理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる	○				
	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている	○				
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている	○				
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができていく	○				
	保育者等の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いを実施している	○				
	利用者(保護者)の意見を聞き、改善に努めている	○				
		○				
教育・保育計画	全体的な計画(教育課程やその他の計画を含む)は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている(職員の参画のもとに作成している)	○				リーダー会議・ブロック会議・職員会議・HIROKOメソッド・全体の計画・年間指導計画や指導案についての作成・話し合いを行っている。
	全体的な計画(教育課程やその他の計画を含む)をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている	○				
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している	○				
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている	○				
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料(幼保連携型認定こども園園児指導要録)を確実に送付し、情報共有を図っている	○				

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている	○				年齢ごとに子どもたちにあった遊びを用意しているが一人一人の成長発達に合わせた遊びの提供が少し出来ていないところがある。今後職員間でも話し合いながら個々に合わせた臨機応変な環境設定も対応していく。
	各保育室は整理整頓され、雑然としていない	○				
	各保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している	○				
愛着形成	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている(0・1・2歳児)	○				全体の計画・年間指導計画・乳児個人計画・児童票・日々の記録等で子どもの行動や様子、興味関心を記録し適時に振り返りを行う。成長発達や課題を把握している。
	保育者は一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている	○				
健康・安全	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している(3歳児以上)		○			緊急時や災害時対応マニュアル・SIDSチェック・アレルギー対応・保健計画・感染症マニュアルによる研修・健康チェック表・健診報告・遊具点検チェック・緊急時職員体制・緊急時フローチャート・避難訓練等での対応をしている。具体的な項目として今後も継続的に行う。また、園生活において情緒の安定に配慮し子どもの生活リズムを理解してもらえよう保護者へ伝えていく。様々な感染症についても引き続き感染対策を継続していく。衣類は生理機能等を交えて知らせ、外出時と室内時、安静時と活動時の衣類調整をし動きが制限されないよう配慮する。手洗い、消毒、換気、健康観察、玩具消毒など子どもを取り巻く環境面や自身の健康の為、対策を継続して行い丈夫で健康な身体づくりを促す。
	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる	○				
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○				
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている	○				
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している	○				
	子どもが睡眠している時は必ず保育者が保育室にいる	○				
	保健(衛生管理・感染症対策等)に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○				
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる	○				
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている	○				
	緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている	○				
幼保小連携	子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している	○				0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している
		○				
特別支援	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関(地域の保健センター、臨床心理士等)の助言を受けている	○				発達等気になるお子さんについては、連絡帳を用いて日々の様子の情報交換や保護者との個人面談を行っている。また、取手市や外部機関との連携も持っている。
	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている	○				
と連携した地域子育て支援	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている	○				保護者利用アンケート・各種行事アンケート・子育てイベントなどからの回答を把握し、今後へ活かしていきけるよう取り組んでいる。
	地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭を関係機関につなげ、子育て支援事業の情報を積極的に発信している	○				